

トボール部、女子バレーボール部、野球部、ESS部など、延べ百人以上が夏休みを返上して復旧作業に携わりました。

「地域貢献」は南陽高校生の活動の大きな柱の一つです。日頃お世話になっている地域の方々に、これからも様々な活動を通して関わっていき、地域と共に歩む南陽高でありたいと考えています。

みこし

七月に宮内熊野大社の夏祭りが開催され、その中の「万燈神輿渡御」に南陽高校から生徒総勢百五十名以上が、毎年参加しています。

生徒会執行部の生徒、運動部の一・二年生そして地元宮内地区出身の生徒たちです。平成二十一年から参加させていただき、今年で八回目の参加となりました。

宮神會、南陽高生、宮内中学生の担ぐ神輿が、夕刻六時半に、町内四箇所からそれぞれ出発し、



熊野大社を目指し渡御されます。神輿の担ぎ方や掛け声は、宮神會の方から丁寧な手解きを受け、始めはぎこちない動作、掛け声ですが、時間を経ていくうちに、宮内の夜空に威勢と活力を轟かせていきます。

祭りでは法被をまとい、神輿を担ぐという経験は、今の時代にそう容易にできることはありません。南陽高校に入学したからこそできる貴重な経験です。古くから地域に伝わる伝承文化に触れ、その一端に自分が関わることができたという達成感、学習や部活動では得ることのできないものと考えま

す。こうした機会を与えて頂いた宮神會をはじめとする関係各位に、この場を借りて御礼を申し上げます。

JRC・インターアクトクラブ部

平成二十八年度、JRC・インターアクトクラブ部は八名で活動しています。年度によって人数が変わり、多い時には四十名以上の時もありました。

JRC部活動は、校内の活動として、ペットボトルキャップ集めを毎週一回しています。校外では、南陽市で行われる、五月大森林祭・八・九月福祉施設の夏祭り・十月さわやかマラソン大会・菊まつりに参加しました。また二月雪灯りまつりなどにボランティアで参加します。南陽市以外でも、七月飯豊少年自然の家・十二月置賜地区ボランティアサークル交流会などに参加しています。校内よりも、校外での活動の方が多い部活動になります。

インターアクトクラブとしては南陽ロータリークラブ・南陽東ロータリークラブ様より多額の支援をいただき、六月と十月地区大会・八月地区外研修に参加させていただいています。そこでは、海外に目を向けた講演会を聞くなど、幅広い知識を得ることができる貴

重な機会となっています。

部活動でのボランティア活動を通して、自ら進んでボランティア活動をしている生徒も出てきています。これからも、ボランティアに積極的に参加をし、地域貢献できる部活動でありたいと考えています。



全体的な傾向

家と学校の往復、勉強と部活動に追われる日々、南陽高生に限らず多くの高校生の現状です。家、学校から離れて、他の組織（社会（地域））と関わり、勉強・部活動以外の事を知ることが、やがて社会に巣立っていく高校生には貴重な経験です。年齢も環境も異なる、大人や高齢者の方あるいは障害を持った方と触れ合い、会話をすることで、人間として成長していきます。学校内だけでは学べない経

験です。ボランティア活動に参加した生徒からは『ありがとう』という言葉聞いてうれしかった。『やつてよかった。また参加したい。』という感想をよく聞きます。こうした活動に参加したことが、進路決定に影響を与えることもしばしばあります。南陽高生を必要とし、様々な活動の場を与えてもらっていることに深く感謝しております。そして地域の多くの方々に感謝される南陽高生であるために、今後も活動を展開していきたいと考えます。今後ともよろしくお願い致します。